

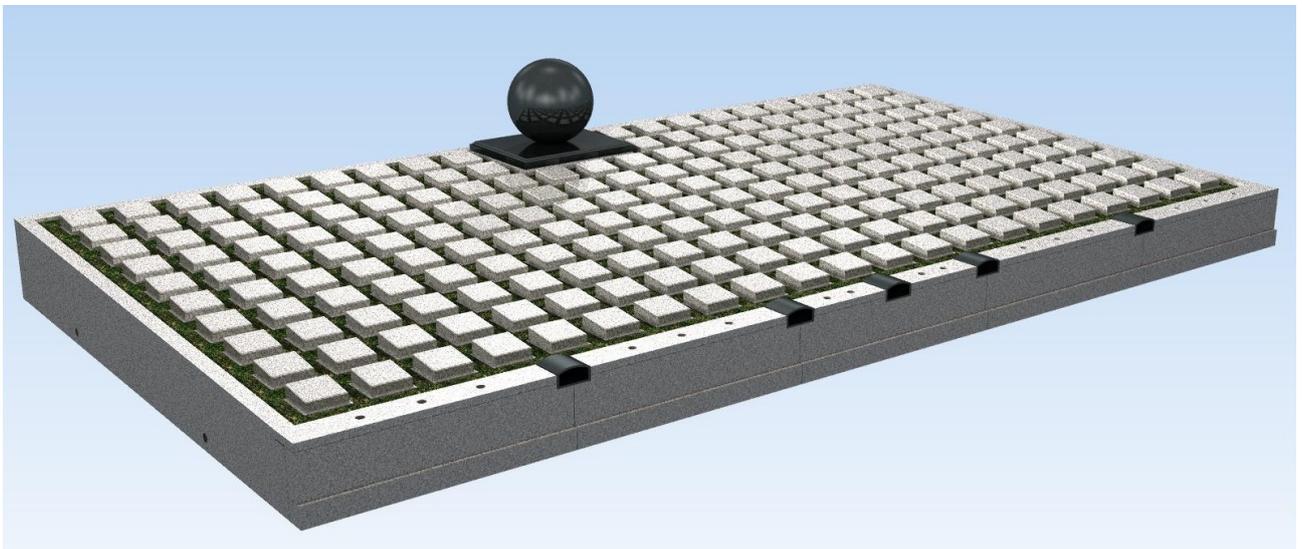
心 動 不 動 心

令和 4 年 7 月
第 6 7 号
発行 普 照 院

今年は本当に短い梅雨で、あっという間に真夏がやって来ましたね。皆さんは暑さに負けずお元気でお過ごしでしょうか。

さて6月末にこのお盆便に先立ち、該当すると思われるお家に『普照院庭園葬墓地(仮称)』(9月中旬完成予定)のチラシを送付させていただきました。この「庭園葬」という名前はあまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、それもそのはずで、私が勝手にそう呼んでいるだけで、通常だと「樹木葬」のお墓と言った方が分かりやすいかもしれません。ただ樹木は枯れると困るので、代わりに円い球体をお祀りすることになっています。なぜ球体を御本尊としたのかと言いますと、球体はどこから見ても円であり、仏教において「円」とは、「悟りや真理=執着から解放された心を表す」からです。

ですから、今から書く「庭園葬」は、「樹木葬」式のお墓のことだと思って読んで下さい。ちなみに7月10日(日)にはその墓地の説明会をお寺で開催することになっていますが、興味はあったがその説明会に行くことができない、もしくは住職が案内を送らなかった(後取りの方が明確におられる場合や、これまでのお話で不要と思われたお家には、原則送付していません)お家の方のために、今回の紙面を使ってお寺の活動紹介としてご案内させていただきます。



この庭園葬墓地とは、上イラストのような集合形式の墓地の俗称で、たくさんある石材プレート(約30cm四方)の一つ一つがお墓となっています。コンパクトではありますが、

- ・雑草等の管理が不要であること
- ・年間維持費が不要であること
- ・生前に申し込みができること

などが特徴となっています。そのため、

- ・お墓の後継者がいない
- ・後継者がいても定期的にお参りができない
- ・墓終いしたいが、何もかも無くなってしまうのは嫌だ

と言ったお家の方が、平成の終わりごろから建立されるケースが増えて来ました。当寺院としても、お檀家さんの中で同様のケースでお悩みの方が増えてきていましたので、もう10年以上も前から神戸市役所と土地取得のための交渉を何度も重ねてきました。しかし舞子墓園の歴史的背景の難しさから交渉が行ったり来たり、ひどい時には話が立ち消えてしまったことも何度かありました。それが今年の4月末ごろに一気に話が進み、なんとか夏の終わり頃には完成する運びとなりました。その交渉の難易度から、これまでこのお墓のお話ができなかったお家の方には、本当に申し訳なく思っています。また、もしこの庭園葬墓地のご案内が送付されなかったお家で、興味がある方がおられましたら、お寺に直接ご連絡いただければと思います。宜しくお願い致します。

最後になりましたが、この新墓地造成に関しては7月終わり頃から9月の初めごろまでの長期の工事となりますので、お盆や秋彼岸のお参りで舞子墓園にお墓をお持ちの皆さんにはご迷惑をおかけすることになるかと思えます。また今回の新規工事と合わせて、墓園の各所の整備（階段の変更・増設や海側の擁壁強化）も行います。墓園維持のためにも、何卒ご容赦の程宜しくお願い申し上げます。

〔編集後記〕 まずは今年の3月に、私の娘二人が時宗総本山の加行（けぎょう）という二週間の修行に出た記事を書かせていただきましたが、お陰様で彼女たちは無事に修行を全て修了してくれました。ご心配をおかけした皆様にはあらためて御礼申し上げます。また昨年より始まり今年からは5月の最終日曜日にお勤めすることになりました「合同動物供養会」も、昨年同様たくさんのお参りがありました。こちらに関しても、新規のお供養にも関わらず足をお運びいただき本当に感謝申し上げます。ご存じの通り普照院は有名寺社仏閣ではありませんが、これからも皆さんのお力で一步一步堅実に、そして力強く歴史を刻んで参ります。そしてコロナは消え去った訳ではありませんが、それぞれの社会活動も復活の兆しを見せ始めていますので、当寺院もお盆の行事は全て例年通り行います。お盆のお参り先の皆さん、私が熱中症でフラフラになっているかもしれませんが、短い時間でも色々お話をさせて下さいね。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

〒652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyojin.com/>

普照院

検索



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげて下さい。